

福岡医発第 1010 号 (地)
令和 5 年 7 月 12 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 蓮 澤 浩 明
(公 印 省 略)

医療者向けWEBセミナー 第5回福岡県難病診療連携拠点病院研修会
について (ご案内)

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、福岡県難病診療連携拠点病院である九州大学病院及び福岡県難病医療
連絡協議会より別添のとおり、県内の難病診療にあたる医師、歯科医師並びに
医療従事者を対象に標記研修会を開催する旨のご案内がありました。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただくとともに、
貴会会員への周知方よろしくお願い申し上げます。

なお、県内の難病指定医療機関には、同院より直接通知がお送りされてお
ります。

記

- △日 時 令和 5 年 8 月 28 日 (月) 19:00~20:15
- △開催方法 WEB 研修
- △対 象 福岡県内の難病診療にあたる医師、歯科医師並びに医療従事者
- △申 込 別添チラシのQRコード又は
 福岡県難病診療連携拠点病院HPの研修案内にある申込フォーム
- △申込締切 8 月 21 日 (月) まで
- △問合せ先 九州大学病院 ブレインセンター内
 未診断・未指定難病相談支援センター
 難病診療連携コーディネーター 池田
 メールアドレス: bundiag@jimu.kyushu-u.ac.jp

以上

小郡三井医師会より

地域保健担当理事 淡河喜雄
会 長 島田昇二郎

令和5年6月22日

福岡県医師会長
蓮澤 浩明 殿

福岡県難病診療連携拠点病院 九州大学病院
福岡県難病医療連絡協議会

医療者向け WEB セミナー 第5回福岡県難病診療連携拠点病院研修会のご案内

平素より大変お世話になっています。

今回は、指定難病のうち、炎症性腸疾患（IBD）を取り上げ症状と診断、最新治療と医療連携を目的とした研修会を開催いたします。

是非会員の皆様へご案内いただきますようお願い申し上げます。

なお、福岡県内の難病指定医療機関に対しましては、当方よりご案内を送付しておりますこと申し添えます。

記

日 時： 令和5年8月28日（月） 19：00～20：15
内 容： WEB 研修会
テーマ「炎症性腸疾患（IBD）の症状と診断 最新の治療と医療連携」
司 会： 九州大学病院 脳神経内科 教授 磯部 紀子
講 師： 九州大学病院 脳神経内科 講師 松瀬 大
原クリニック 副院長 原 裕一
九州大学病院 消化管内科 講師 鳥巢 剛弘
対 象： 福岡県内の医師、歯科医師ならびにすべての医療従事者の方々
申し込み方法： 同封のチラシの二次元コードもしくは福岡県難病診療連携拠点病院のホームページの研修案内にあるURL よりお申し込みください。

以上

【問い合わせ先】

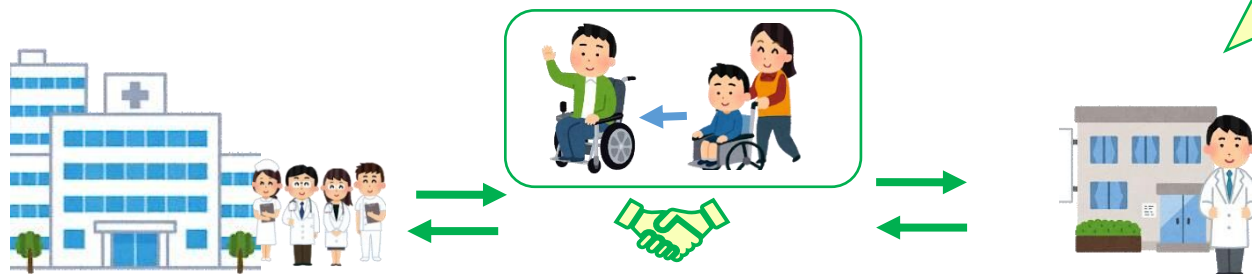
九州大学病院 ブレインセンター内
未診断・未指定難病相談支援センター
難病診療連携コーディネーター 池田
E-mail：bundiag@jimu.kyushu-u.ac.jp

医療者向けWEBセミナー

第5回 福岡県難病診療連携拠点病院研修会

適切な時期に難病の診断ができ、難病と生きる患者さんが地域の医療機関で医療を受けながら安心して療養生活を送ることができる医療連携の構築を目的とした研修会です。

参加
無料



日時 2023年8月28日（月） 19:00～20:15
Web入室18:30～

参加者 福岡県内の難病診療にあたる医師、歯科医師ならびに医療従事者
（事前予約者先着290名まで）

オンデマンド配信 2023年8月31日（木）～9月21日（木）

* オンデマンド配信はすべてのお申し込み者が閲覧可能です。

参加申し込み締切 2023年8月21日（月）まで

プログラム

●挨拶

九州大学病院脳神経内科
教授 磯部 紀子

●「難病相談支援」の紹介

九州大学病院脳神経内科
講師 松瀬 大

テーマ「炎症性腸疾患（IBD）の症状と診断 最新の治療と医療連携」

講演 1「クリニックで出会うIBD患者の症状と診断」

原クリニック
副院長 原 裕一先生

講演 2「IBDに対する治療のポイント」

九州大学病院消化管内科
講師 鳥巢 剛弘先生

- 申し込みフォームまたは二次元バーコードにアクセスし、必要事項をご入力の上お申し込みください。

申し込み完了メールが届いたら受付完了となります。

- 申し込みフォームURL

<https://forms.gle/v4As1rXBhC3LKJ3c9>



お問い合わせ先

九州大学病院
未診断・未指定難病相談支援センター
E-mail: bundiag@jimu.kyushu-u.ac.jp

共催：九州大学病院
福岡県難病医療連絡協議会

協力：九州大学病院アジア遠隔医療開発センター